

## TPP 製造業 潤うってホンマ？

朝日新聞<12(H24). 4. 22>

．．．．．TPP．．．．．「関税の撤廃で潤う製造業」対「壊滅的な打撃を受ける農業」と対立軸で語られることが多いなか、「**製造業こそが壊滅する**」との説も出てきた．．．．．TPPに反対する経済学者の野口悠紀雄氏は「製造業へのメリット」に疑問を投げかける。仮に日本がTPPに参加した場合、参加国中のGDPの約9割を日米で占める。日本の最大の輸出市場は米国だが、関税は自動車は2.5%、電気機器1.7%などと比較的安く、「為替変動の影響の方がはるかに大きく、輸出の伸びしろは限られる」と見る．．．．．野口教授が製造業への影響で重視するのは中国の動向だ。**TPPは自由化ではなく、参加国以外を排除する「ブロック経済化」と指摘。**中国がTPPに対抗して欧州連合（EU）との経済連携に走るシナリオをあげ、「**ドイツなどと競合している日本製品が中国から締め出される恐れがある。製造業にとっては自殺行為**」という。中国は日本にとって最大の貿易国で、関西も同じだ。大阪関税によると、関西2府4県の輸出額では、米国を含めたTPP参加国が20.6%なのに対し、中国だけで24.3%を占める。輸出額も03年に米国向けを抜いて以来、9年連続で首位だ。「いずれ中国もTPPに加わるのでは」との見方もあるが、労働者の人権問題や、インターネットの検閲疑惑などを抱えたままでは参加は難しい。**アジアの経済大国、中国を欠いたままのTPPが本当に日本の製造業を救うのか。**関西経済のエンジン役である製造業は家電や機械、部品などすそ野も広いだけに、その動向から目が離せない。（安川嘉泰）

<太字は引用者が強調のためにそうしました。>